



だれもが夢を持ち、みんなで支え合う福祉のまち

やお社協だより



No.160 2023.9.20号



赤い羽根共同募金にご協力お願いします



©中央共同募金会「愛ちゃんと希望くん」



今年も10月1日から全国一斉に共同募金運動が始まります。

共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

長年にわたりご協力いただいた寄付者の皆様、ボランティアの皆様にご心よりお礼申し上げます。

今年度も赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

令和5年度 共同募金 記念バッジ募金

500円以上募金にご協力
いただいた方に進呈
社会福祉会館窓口
にて10月2日～
受付中!



地区共同募金会をはじめとする各市町村の赤い羽根募金の助成で行われる活動については、赤い羽根データベース「はねっと」<https://data.akaihane.or.jp/hanett/login>をご覧ください

フエキくん募金を 実施します



ふえきのり

今年も不易糊工業株式会社様のご協力で「フエキくん×赤い羽根共同募金」に500円以上ご協力いただいた方には、コラボグッズを贈呈します。

今年のコラボグッズは11月22日から!

受け取り窓口はこちら。

- ①八尾地区募金会(八尾市社会福祉協議会内)1階窓口
- ②ええショップ いろいろ
(アリオ八尾内 2階)

今年のグッズはボールペン2本セットです。

※11月下旬にはホームページでもお知らせします。



介護者健康診断費用補助

障がいのあるご家族や、在宅の介護認定を受けたご家族を介護されている方、この機会に健康診断を受けてみませんか? その費用を、歳末たすけあい募金で補助いたします。

令和5年9月1日～令和5年12月31日の間に受けた健康診断費用を補助します(健保・国保における保険給付の対象となる診療や予防接種、治療などは対象外)。

申込申請期間

令和5年9月1日～令和6年1月5日

※申込方法等詳細は、社会福祉協議会までお問い合わせください。



八尾市社会福祉協議会 令和4年度の主な取り組みと事業報告

第4次八尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画の基本理念「だれもが夢を持ち、みんなで支え合う福祉のまち」にもとづき以下の事業を行いました。

基本目標1 身近な地域でつながり、支え合う仕組みづくりの推進

- ・コロナ禍での新たな生活様式にあった支えあいの仕組みづくりについて、地域とともに協議を重ねました。
- ・昨年度より継続して「ベビーサロン」を実施し、地域と一緒に新たな活動モデルに取り組みました。

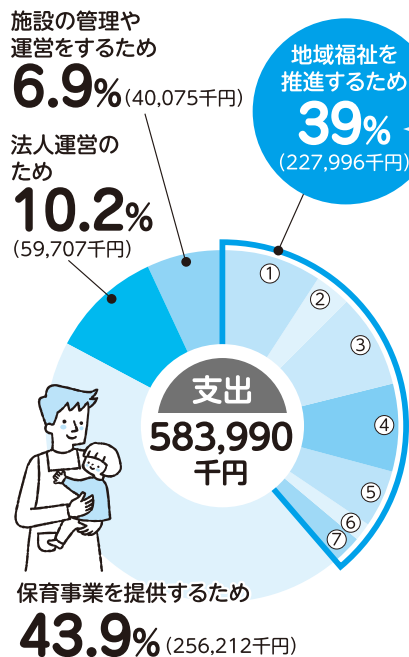
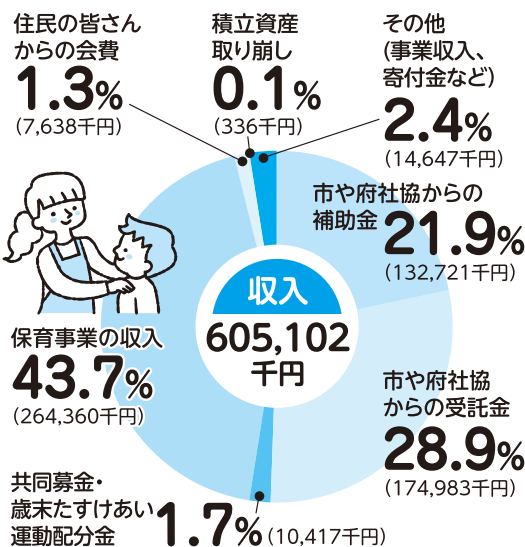
基本目標2 多様な主体の参加支援と連携の推進

- ・地域の集会所などで活用できるICT機器の導入や、地域のためのコンテンツ制作に取り組みました。
- ・ボランティアセンターでの「フレイル予防教室」の開催支援、当会が事務局である献血推進協議会において、不足している血液を確保するため近隣の商業施設などで献血推進活動を積極的に行いました。

基本目標3 身近な地域における支援のためのネットワークづくりの推進

- ・「新型コロナ特例貸付特設窓口」が令和4年9月末で終了しましたが、相談者に寄り添いながら、きめ細やかな個別支援を行いました。
- ・成年後見制度の利用促進に向け、各機関と連携し市民向け相談会等を開催し、また新たな権利擁護支援のモデル事業を立ち上げました。
- ・高齢者の生きがいづくりの一環として老人福祉センターでの同好会活動やおひさまこども園での地域の子育て家庭に対する継続的な支援を行いました。

令和4年度 決算



- ① 地区福祉委員会に関する事業 **9.4%** (54,733千円)
- ② 生活支援等の体制整備事業 **3.1%** (18,111千円)
- ③ 生活支援センター事業 (生活困窮者自立支援事業、家計相談事業など) **8.7%** (50,671千円)
- ④ 権利擁護センター事業 (権利擁護推進事業など) **8.1%** (47,092千円)
- ⑤ ボランティアセンター事業 (ボランティアセンター、ファミリーサポートセンターなど) **5.4%** (31,795千円)
- ⑥ 共同募金・歳末たすけあい配分事業 **1.5%** (9,023千円)
- ⑦ その他 (心配ごと相談、地域貢献事業、地域支援事業、団体事務、団体助成) **2.8%** (16,571千円)

収入総額から支出総額を差し引いた21,112千円は次年度へ繰越しました。

詳しくはホームページをご覧ください。

八尾市社会福祉協議会



善意銀行 敬老の杖を抽選でプレゼント!!

㈱日東様よりご寄付いただいた敬老の杖(500本)を往復はがきで応募いただいた対象の方に一人1本抽選でプレゼントします。当落選については、返信はがきでご案内します。

対象条件 八尾市在住の65歳以上(敬老の日時点)

応募方法 往復はがきで【往信の左側】に本会の宛先(八尾市本町2-4-10 八尾市社会福祉協議会)

【返信の左側】にご自身の氏名、住所

【返信の右側】に下記の必要事項を明記してご応募ください。

必要事項 ①住所、②氏名、③電話番号、④年齢、⑤杖のサイズ(大85cmか小79cm)、⑥受取場所(以下から受取場所を1か所選び、記入してください。)

受取場所

- 曙川出張所 / ●久宝寺出張所 / ●志紀出張所 / ●大正出張所
- 高安出張所 / ●竹淵出張所 / ●西郡出張所 / ●南高安出張所
- 山本出張所 / ●龍華出張所 / ●安中人権コミュニティセンター
- 緑ヶ丘コミュニティセンター / ●八尾市立社会福祉会館3階



締切 10月11日(水)消印有効 昨年当選した方はご遠慮ください。

当選者について

当選者は、「当選はがき」を持参し、期日までに交換してください。

受取可能

平日の午前8時45分～午後5時15分

当選はがきを持参いただければ、代理の方の受取も可能です。期日までに交換されなかった場合は、辞退されたものとなります。(抽選結果は、10月25日(水)以降にはがきにて返信します。)

往復はがきの書き方

表面 切手の色が青

581100003 往信 八尾市本町 2-4-10 (福)八尾市 社会福祉協議会 宛 □□□□□	何も書かないで ください。 (抽選結果を記載 して、返送します。) □□□□□
---	---

裏面 切手の色が緑

□□□□□□□ ↑ 返信 応募者の 郵便番号 □□□□□	必要事項 ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④年齢 ⑤杖の長さ(大か小) ⑥受取場所 (例:○○出張所)
--	---

注意 記入内容やはがきに不備等があった場合は、無効となります。また、投函後の記載内容の変更は受付いたしかねます。

社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

毎年7月は、「社会を明るくする運動」の強調月間です。7月3日公立認定こども園、小・中・義務教育学校校門にて、啓発活動を行い、7月25日・26日アリオ八尾2階オレンジコートにて、啓発物品を配布しました。



▲大正中学校前



▲アリオ八尾(オレンジコート)

認知症になっても障がいがあっても「自分らしく暮らしたい」をお手伝いします。

計画的にお金を使うことがむずかしい

通帳や大事な書類をなくしてしまう



日常生活自立支援事業とは

判断能力が十分でないために、ご自分で福祉サービス利用などを決めることが不安な方や、日々の生活に必要なお金の管理に困っている方が、地域で自立して安心して生活できるようにお手伝いする事業です。利用の契約をした後、ご本人と一緒に考えた支援計画に基づいて八尾市社会福祉協議会の職員がサポートします。

利用には条件や費用がかかる場合がありますので、詳しくはご相談ください。

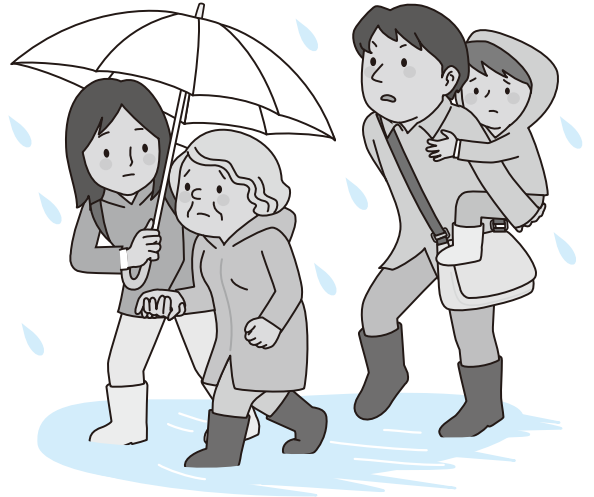
権利擁護センター「ほっとネット」 TEL:072-924-0957 FAX:072-924-0974
メール:kenriyogo@yaosyakyo.org

災害時の福祉施設と地域の取り組み

社会福祉施設連絡会

施設
連絡会
とは

市内の高齢・児童・障がい関係の社会福祉施設が相互の連携・調整を図り、地域に開かれた施設として地域福祉の向上に努めること、地域にある様々な福祉ニーズに対応していくことを目的に、平成24年に発足しました(77施設R5.7.20付)。



1 【台風2号(令和5年6月2日発生)に伴う取り組みについて】

八尾市と社会福祉施設連絡会では、平成27年に「災害時発生などにおける福祉避難所等の協力に関する協定」を締結しました。本協定は、大規模災害時等に災害時要配慮者を受け入れるための臨時福祉避難所の設置・運営、緊急保育等の確保に関する協力体制を、包括的に定めています(具体的な協力内容は法人と市との個別協定に基づきます)。

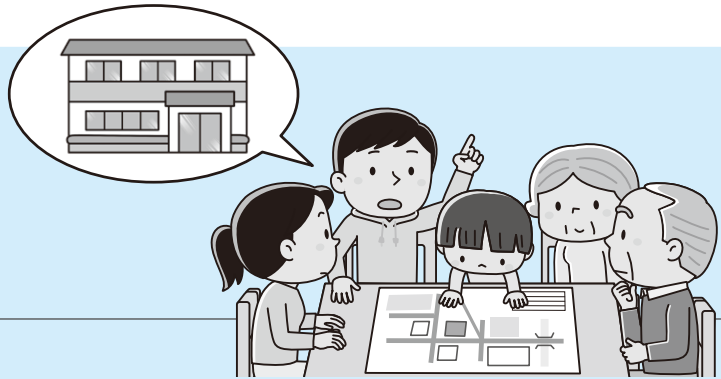
特に「災害時要配慮者支援事業 わたしの避難計画」に基づく取り組みでは、事前避難対象者を選定し、どの対象者をどの施設で受入可能か福祉避難所開設に向けてマッチングを行っています。

今般、6月2日に発生した台風2号では「警戒レベル3(高齢者等避難)」が発令され、マッチングしている施設より対象者へ受け入れや送迎の連絡がなされました。そして、5名の方が、3か所の施設において避難へとつながりました。

今回、「わたしの避難計画」を基に、施設・市・社協が連携し、高齢者や障がい者などの避難へとつながりました。取り組み実施後の振り返りにおいて、11施設より「災害時における福祉施設の取り組みに市や社協が協働している大切な仕組み」「施設受け入れとして初めての取り組みであったが、幸い大きな災害にならず、今後に向けて課題や改善点がわかった」「避難対象者だけではなく、地域全体として災害意識を高めていく必要がある」など、今後の取り組みに向けた様々な前向きな意見があがりました。

1 福祉避難所等に係る対応状況表

(1) 事前避難対象者受入可能施設	31か所
(2) 事前避難対象者マッチング施設	11か所
(3) 福祉避難所等開設準備依頼施設	9か所
死亡による対象者なし	2施設
(4) 事前避難対象者を行った施設	3か所



2 経過

- 6月1日(木) 事前避難対象者の確認 23名 ・ 市から受入施設(11か所)へ連絡
- 6月2日(金) 10時42分 危機管理課より指定避難所(山手4か所)開設準備指示
- 12時00分 警戒レベル3(高齢者等避難)発令
- 12時15分~16時 適宜、連絡調整、移送、受入
- 18時00分 避難情報解除
- 19時00分 事前避難対象者受入施設2か所(きずな2名・やまなみ1名)より帰宅が完了報告。
- 6月3日(土) 10時00分 事前避難対象者受入施設1か所(信貴の里2名)より帰宅が完了報告。

3 事前避難対象者について

- (1) 南高安地区 5名【内訳】高齢者3名・障がい者2名

2 令和5年度施設連絡会研修会を開催しました ～自然災害の備えと対応について～

令和5年7月14日(金)、施設連絡会総会後の午後2時から研修会を開催しました。熊本県菊池市社協 事務局長 加來留氏を講師としてお招きし、「自然災害の備えと対応について～事業継続計画(BCP)の視点から考えてみましょう～」をテーマに研修会を開催しました。

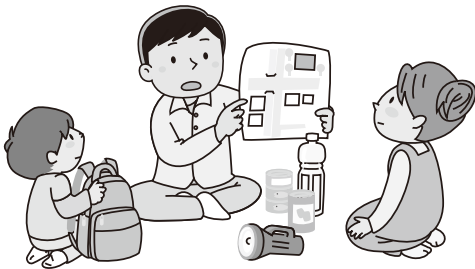
研修会には、高齢・障がい・児童分野から57施設、約65名と多くの参加がありました。また、八尾市役所、大阪府社会福祉協議会からもご参加いただきました。

講演では、冒頭、最大震度7を観測した「平成28年熊本地震」や「令和2年熊本豪雨」における被災状況の報告がありました。災害ボランティアセンターによる支援活動や被災地における避難所運営の取り組みから浮かび上がった課題では、「福祉避難所も含めた避難体制の再検討」「支援団体の混在化と情報の錯綜」「行政や地域との関わり的重要性」などがあげられました。

特に、発災時の福祉施設については、『医療、福祉、介護、児童などの種別に関わらず自治体にとって認知度の高い組織は支援機関に位置づけられる可能性がある』。また、『日頃から地域連携活動が活発である地域との関わりが深い施設は、住民や関係団体からのアクセスも併せて集中する可能性も想定される。発災直後は、近隣住民の避難所と化すこともある。』さらに、『被災直後は、通所型の施設(デイサービス、幼保育園など)であっても利用者などの滞在場所(緊急避難所)としての役割が求められる。また、福祉避難所の締結施設の場合、開設準備だけではなく利用者受入のトリアージ機能を担うことも想定される。』など、実際に大規模災害の被害を受けた被災地の実践報告を受けました。

質疑応答では、講師と、食事や避難所運営、職員の働き方、ご家族の在り方など発災時における具体的な議論が交わされました。

社会福祉施設連絡会といたしましても、今回の研修会を参考に、災害時における地域貢献のあり方や施設間連携などについて積極的に取り組んでまいります。



シニア向け地域福祉デビュー講座

～認知症の方への理解～

この講座は、65歳以上を対象に、地域福祉に関する知識を習得し、これから何かを始めよう、始めたいと思っている方向けの体験型講座です。6月1日から7月4日までの全6日間で、6月20日には認知症の方への声かけ体験を実施しました。

声かけ判断ポイント

- 高齢者が、ウロウロ、キョロキョロ、ソワソワと不自然に歩いている
- 車道などをひたすら歩いている
- 道路の縁石などに、長い時間座り込んでいる
- 季節や気候に合わない服装で歩いている など



認知症の方とどのように接したらよいか

- まずは見守る
- 余裕を持って対応する
- 声を掛けるときは一人で
- 後ろから声をかけない
- おだやかに、はっきりした滑舌で
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

★次回10月26日(木)～サポートやおで実施予定。詳しくは市政だより10月号をチェック!

ボランティアセンターだより

やおファミリー・サポート・センター 会員募集!

やおファミリー・サポート・センターは、地域の中で育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、助け合う会員組織(有償)です。依頼会員の入会受付は事前予約が必要となりますので、まずお電話をお願いします。(約40分程度入会について説明をお聞きいただけます)

「子どもが大好き」「自分のあいた時間を子育て支援に役立てたい」と思われる方は、この機会に【援助会員養成講座】を受講してください。(年2回(春・秋)開催)



合計24時間の講座の受講が必要です。
左記の他、公立こども園見学実習(予定)があります。

令和5年度 援助会員養成講座(後期)

日時 10月13日(金)・14日(土)・19日(木)・24日(火) 11月8日(水)・16日(木)
午前10時～午後3時(昼1時間休憩あり)

※カリキュラムの詳細は、出張所・市役所・センター窓口にある「黄色いちらし」でご確認ください。

場所 サポートやお 2階 他 **定員** 先着15名(無料) **申込受付期間** 10月5日(木)まで

※一時保育あり有料(生後3か月～就学前 5名)

申込・問合せ先 やおファミリー・サポート・センター TEL:072-924-3657 FAX:072-925-1161

〒581-0018 八尾市青山町4-4-18 八尾市在宅福祉サービスネットワークセンター(サポートやお)内

後期 フレイル予防教室 募集

「八尾市ボランティア連絡会」主催で、「後期 フレイル予防教室」を開催します。講師は、ボランティアセンターに登録しているボランティアグループです。みんなで、笑顔で♪ 楽しく♪ 元気に♪ 素敵な時間を過ごしましょう♪たくさんのご応募、お待ちしております!!

日時 午後1時30分～3時 **場所** 八尾市立社会福祉会館 2階 集会室

※下記の表をご参考ください。 **申込受付期間** 9月29日(金)まで

定員 30名(抽選) ※後期(3回)一括の申込となりますので、ご注意ください。

その他 手話通訳が必要な方は、事前にご連絡をお願いいたします。

10月11日(水)	11月8日(水)	12月13日(水)
グループ名 八尾市ウエルネスダンス協会	グループ名 花水木の会	グループ名 Musica(ムシカ)
内容 ダーツで知能ゲーム	内容 タオル体操 他	内容 懐かしい曲を一緒に歌おう♪

傾聴ボランティア講座のお知らせ

「傾聴」とは、相手の話を聴き、心に寄り添うコミュニケーション方法です。傾聴の基本を学び、ボランティア活動等に役立てませんか?

傾聴ボランティア講座(全5回) ※原則全日程参加が必要です。

日時 11月17日(金)、21日(火)、24日(金)、12月1日(金)、12月8日(金) 午後1時30分～4時

場所 サポートやお 2階 多目的ホール **定員** 30名

申込受付期間 10月31日(火)まで

ボランティア体験プログラム参加者募集

ボランティアを始めたい方! 新しいボランティアに挑戦したい方! 大募集! 参加希望の方は下記の事前説明会にご参加ください。

日時 10月12日(木) 午前10時～11時 **場所** サポートやお 2階 会議室

定員 15名(抽選) **申込受付期間** 10月10日(火)まで

※事前説明会の日程が合わない方は個別対応も行いますので、お気軽にご相談ください。

申込・問合せ先 ボランティアセンター TEL:072-925-1045 FAX:072-925-1161

〒581-0018 八尾市青山町4-4-18 八尾市在宅福祉サービスネットワークセンター(サポートやお)内

●市内献血スケジュール (予定)

※日程、時間は変更になる可能性もありますので予めご了承ください。

実施日(令和5年)	時間	開催場所(主催・協力団体)
10月7日(土)	午前10時～午後4時30分	近鉄八尾駅前(八尾市薬剤師会)
10月14日(土)	午前10時30分～午後4時30分	リノアス2階(八尾市女性団体連合会)
10月16日(月)	午前10時～正午・午後1時～午後4時30分	八尾市役所(定期開催)
10月21日(土)	午前10時～午後4時30分	アクロスプラザ八尾(志紀地区福祉委員会)
10月28日(土)	午前10時～正午	龍華コミセン(龍華・亀井小東・永畑地区福祉委員会)
11月5日(日)	午前10時～午後4時	アリオ八尾(八尾地区自治振興委員会)
11月11日(土)	午前10時30分～午後4時30分	リノアス2階(八尾市女性団体連合会)
11月12日(日)	午前9時30分～午後0時30分	美園小学校(美園地区福祉委員会)
12月2日(土)	午前10時30分～午後4時30分	リノアス2階(八尾市女性団体連合会)
12月9日(土)	午前10時～午後4時30分	近鉄八尾駅前(用和地区福祉委員会)
12月11日(月)	午前10時～正午・午後1時～午後4時30分	八尾市役所(定期開催)
12月16日(土)	午前10時～午後4時30分	アリオ八尾(八尾中央ライオンズクラブ)
12月17日(日)	午前10時～午後4時	近鉄八尾駅前(八尾菊花ライオンズクラブ)

●献血実績報告 令和5年4月～6月

※その他、多くの企業・団体のみなさまのご協力ありがとうございました。

月	会場数	受付人数	採血者数		主催・協力団体
			200ml	400ml	
4月	9ヶ所	329人	2人	273人	八尾市女性団体連合会、北山本・高砂地区福祉委員会、八尾菊花ライオンズクラブ、志紀地区福祉委員会 等
5月	7ヶ所	385人	3人	317人	八尾市女性団体連合会、八尾市薬剤師会、龍華・亀井小東・永畑地区福祉委員会、八尾地区自治振興委員会 等
6月	9ヶ所	443人	6人	380人	八尾市女性団体連合会、亀井小学校区まちづくり協議会、長池地区福祉委員会、八尾中央ライオンズクラブ 等

命のリレー通信

Vol.54



1年、365日
血液が必要
です

「献血が支える誰かの明日があります」

輸血用血液の大部分は、がんや白血病、再生不良性貧血など、定期的な輸血が必要な方への治療に利用されています。また全体の3.8%はケガの治療で使用され、心臓手術でも大量の血液を必要とします。血液は長期保存ができず、毎日輸血が必要な患者さんの命を「あなたの献血」が救っています。秋の行楽シーズンから寒くなる冬場に向けて、全国的に献血者が減少します。大阪府では12月を「大阪府献血推進月間」としており、八尾市でも12月2日(土)に献血の大切さを広くPRするとともに、一人でも多くの方々にご協力をいただけるよう「冬の献血キャンペーン」を実施予定です。

今後の血液の安定供給のためにも、みなさまの継続的な献血のご協力をよろしくお願いいたします。

善意銀行 令和5年 5月～7月分

一般寄付・福祉全般(合計 93,267円)

株式会社 ファミール……69,000円
成法中学校 第5期生 3年5組卒業
………24,267円

※寄付された個人及び法人は、確定申告によって税控除があります。

物品寄付

大阪信用金庫 八尾支店・八尾桜ヶ丘支店………食品
大阪中河内農業協同組合 南高安支部 成年部…ルフレ八尾へ 枝豆
大阪中河内農業協同組合 曙川支部 成年部…ライフサポートおいばらへ 枝豆

(敬称略・順不同)

ご協力ありがとうございました。



成年後見制度に関する個別相談会



弁護士・司法書士・社会福祉士が、成年後見制度に関する疑問や相談にお応えします。親族後見人の方も対象ですので、制度について聞きたい方等、お気軽にご相談ください。予約制ですので、電話・メール・FAXにてお申込みください。

日時 令和5年10月13日(金)、11月10日(金)、12月8日(金)
いずれも①午後1時30分～②午後2時30分～
1組45分ずつ

場所 八尾市立社会福祉会館2階(八尾市本町二丁目4番10号)
申込先 権利擁護センター「ほっとネット」

開催日の前月1日(土・日・祝は次の平日) 午前8時45分～申込開始(ご希望の日時①②をお知らせください)
TEL:072-924-0957 FAX:072-924-0974 メール:kenriyogo@yaosyakyo.org

詳しくは、権利擁護センター「ほっとネット」のホームページをぜひご覧ください♪
<http://yaosyakyo.org/kenri/>



心配ごと相談

家庭や身のまわりの心配ごと、適切な相談相手がいなくてひとりで悩んでいる方、どこの相談窓口で相談に行けばよいのか分からないで困っている方の相談に応じています。

日時 毎週 月・木曜日 午後1時～4時まで(祝日、年末年始は休止)

場所 八尾市立社会福祉会館 2階相談室 TEL:072-991-9871(電話相談可)

問合せ先 八尾市立社会福祉会館老人福祉センター TEL:072-924-8658 FAX:072-924-0974



※予約不要。先着順で
ご相談に応じます。

市民向け公開講座 落語を楽しむ会



日時 10月14日(土)
午後1時30分～3時30分

場所 八尾市立社会福祉会館 3階 大広間

募集 先着25名

申込 事務所へ直接申し込みまたは、電話、FAXでお申し込みください。

申込期間 9月20日(水)～10月6日(金)

ひまわりカフェ

どなたでも気軽に利用することができるカフェです。



日時 毎週金曜日 午後1時～3時

場所 八尾市立社会福祉会館 3階
ひまわりカフェスペース

料金 100円(1ドリンク+お菓子)

※ご利用の場合は、ドリンク券を3階の老人福祉センター事務所で購入してください。

※年末年始、祝日は休止。

編集後記

今まで身近に起こるとは思わなかった竜巻や、線状降水帯による集中豪雨などが日常的に話題になっています。私たちの生活も異常気象により、おびやかされるようになりました。私たちの生活を守っていくためには公助と共に、地域住民のささえあいによる共助が重要です。地域共生社会の実現に向けて多くの方々と共に力を合わせていきましょう。

(機関誌編集委員会)

生活の相談窓口

ひとりで悩まず、 まずはご相談を。

- ・長期の空白があって働くことへの不安
- ・なかなか仕事が見つからない
- ・家計のやりくりを、ひとりでは不安
- ・生活に困っている、困っている家族がいる



一緒に考え、解決のお手伝いをします。

問合せ先 生活支援相談センター
TEL:072-924-3761 FAX:072-924-3940